

令和 年度				調 査		
				設 計		
工 事 番 号				施 工 地		
		実 施 ・ 元		変 更		
		設 計 額		66,286,000 円		
契 約 額		円		円		
(内消費税額)		(円)		(円)		
工 事 ・ 履 行 日 数		工事日数 日間		日間 (付与日数 日間)		
		又は 完成期限 年 月 日		完成期限 年 月 日		
実 施				変 更		
(元)						
設計概要				設計概要		

設 計 変 更 理 由 書

消費 税 総 括 表

(単位 : 円)

項 目	実 施		変 更 (1 回 目)			変 更 (2 回 目)		
	設 計	請 負	設 計	請 負		設 計	請 負	
				合 計	増 減 分		合 計	増 減 分
工 事 価 格	(1)	(4)	(7)	(10)= (7)*(6)/(3)	(13)= (10)-(4)	(16)	(19)= (16)*(6)/(3)	(22)= (19)-(10)
工 事 価 格 計	60,260,000							
本 工 事 費	60,260,000							
附 帯 工 事 費								
補 償 工 事 費								
消費 税 相 当 額	(2)=(1)*0.10	(5)=(4)*0.10	(8)=(7)*0.10	(11)= (10)*0.10	(14)= (11)-(5)	(17)= (16)*0.10	(20)= (19)*0.10	(23)= (22)*0.10
消費 税 相 当 額 計	6,026,000							
本 工 事 費	6,026,000							
附 帯 工 事 費								
補 償 工 事 費								
工 事 費	(3)=(1)+(2)	(6)=(4)+(5)	(9)=(7)+(8)	(12)= (10)+(11)	(15)= (13)+(14)	(18)= (16)+(17)	(21)= (19)+(20)	(24)= (22)+(23)
工 事 費 計	66,286,000							
本 工 事 費	66,286,000							
附 帯 工 事 費								
補 償 工 事 費								

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意）、“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099 ※		Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx ※	TFJAxxxxxxxx ※	TYxxxxxxxx ※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。※

積算基準 [1 県版]	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準 [2 調査関係]	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準 [3 港湾]	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準 [4 下水道]	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準 [1 一般土木] 全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準 [4 公園緑地]	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準 [6 機械・電気通信]	SWExxxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準 [5 建設機械損料表]	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900 ※	S0901 ※	SE918 ※	
名称、労務数量等を設定	SA901 ※	SA902 ※	SA910 ※	SC900 ※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機－〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合もあります。
SDHTxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。
同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「※減額処理※」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「※単価置換※」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。
「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。
詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0008

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・規格 2	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊					
航路泊地船だまり		式			
浚渫工		式			
グラブ浚渫工		式			
グラブ浚渫		一式			
グラブ浚渫		m3		18,400	
土捨工		式			
土運船運搬工		式			
土運船運搬		m3		18,400	
直接工事費					
回航・えい航費		式			
えい航		式			
えい航費(作業船)		回		2	
えい航費(作業船)		回		2	
現場環境改善費		式			
共通仮設費（率分）					
共通仮設費計					
純工事費					

07-実施-港湾-0001-当初

＊ ＊本工事費＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0009

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

[illegible]

総括情報表

頁0-0010

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日/適用基準日 諸経費体系 ファイル名	4A 100 新潟市 実施設計書 0 当初 1 実施単価 31 新潟③ 0-07. 12. 20 (0) 3 港湾 R:¥設計書¥2025_令和07年度¥011農村整備・水産振興課¥01当初¥07-農水第3号-新川漁港⑦-1航路浚渫工事-当初suisan.ES5		
	当 世 代		前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 海上輸送に要する補正 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休2日補正の有無 小型車補正	01 浚渫工事 04 地方(3):施工場所の影響無 01 現場環境改善あり 40 40% 00 海上輸送なし 01 金銭的保証 04 10% 21 0%:補正なし 00 なし(当初・対象外等) 00 小型車補正なし		
	工事価格	消費税相当額	工事費
本工事価格	60,260,000	6,026,000	66,286,000
工事価格計	60,260,000	6,026,000	66,286,000

07-実施-港湾-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0011

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊						X1000
航路泊地船だまり						Y1S00000000
			式		37,462,400	
浚渫工						Y2S00000000 06=係数ランク : 1
			式		18,988,800	
グラブ浚渫工						Y3S00000001
			式		18,988,800	
グラブ浚渫 規格:						Y4S00000002
			式		18,988,800	
グラブ浚渫						SDH101030 0 01=1, 02=1, 03=2, 04=1, 06=1, 08=1, 10=2, 11=1, 12=1, 13=1, 14=1
0 省略	18,400	m3		1,032	18,988,800	施工 第0-0001号内訳表
土捨工						Y2S00000001 06=係数ランク : 1
			式		18,473,600	
土運船運搬工						Y3S00000006
			式		18,473,600	
土運船運搬						SDH101240 0 01=1, 02=16, 03=172.6, 04=155.4, 05=2, 06=1, 0 8=1, 10=1, 11=1, 12=0.5, 14=1
0 省略	18,400	m3		1,004	18,473,600	施工 第0-0002号内訳表

07-実施-港湾-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0012

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費							
回航・えい航費						37,462,400	Z0001
えい航				式		1,420,096	YZ2S0000001 06=係数ランク : 1
0 省略				式		1,420,096	SDII190040 0 01=8.5, 02=3, 05=1, 06=2, 31=1, 32=10, 35=1
えい航費(作業船)							施工 第0-0003号内訳表
0 省略		2		回	428,891	857,782	SDII190040 0 01=8.5, 02=13, 16=1, 30=1, 31=1, 32=9, 35=1
えい航費(作業船)							施工 第0-0008号内訳表
0 省略		2		回	281,157	562,314	Z0014
現場環境改善費							
				式		359,000	
A*B 対象額---A=37,462,400 率-----B=0.0096							
共通仮設費 (A*B 対象額---A=37,462,400 率-----B=0.0741 率分)						359,639	
共通仮設費計						2,775,000	
						4,554,096	

07-実施-港湾-0001-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0013

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
純工事費										
								42,016,496		
現場管理費										
A*B										
対象額---A=42,016,496										
率-----B=0.2094										
								8,798,000		
工事原価										
								50,814,496		
工事原価計										
								50,814,496		
一般管理費等										
A*(B*I)										
対象額---A=50,814,496										
率-----B=0.1856										
								9,425,504		
契約保証費										
A*B										
対象額---A=50,814,496										
率-----B=0.0004										
								20,000		
一般管理費等計										
								9,445,504		
工事価格										
								60,260,000		
消費税相当額										
A*B										
対象額---A=60,260,000										
率-----B=0.1000										
								6,026,000		

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
工事費										
							66,286,000			

07-实施-港灣-0001-当初

SDH101240 施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 雑材料区分 ・ 管理費区分
土運船(押航) 鋼650m3積(開閉式)	2.000	日	419,100	838,200	SDHT11670 1 鋼 m3積
押船 鋼D 1300PS型	1.000	日	403,876	403,876	SDHT11450 1 鋼D PS型
雑材料	0.5	%	1,242,076	6,210	#01
			1,248,286	1,004	+00 1248286/1243
		m3	1,004	1,004	+00 1004/1
小計	1	m3		1,004	
土運船による遠距離土捨 浚渫船1日当り運転時間[T] 合成浚渫量[q0/f](m3/h)	=1 =16 =172.6	対応しない 8.0時間 合成浚渫量[q0/f](m3/h)			
複数土砂合成浚渫量(変化率未考)[q0](m3/h) 運搬方法 規格選定の方式	=155.4 =2 =1	複数土砂合成浚渫量(変化率未考)[q0](m3/h) 押船方式 標準			
土運船(押航)の規格 押船の規格 揚土土捨工の指定	=1 =1 =1	鋼650m3積(開閉式) 鋼D 1300PS型 無し			
往復平均えい航距離[d](km) 土運船1日当り運搬量の算出方法	=0.5 =1	往復平均えい航距離[d](km) 自動計算			
往復平均えい航速度[v](km/h)=11.000 土運船(押航)の公称泥艀容量[B](m3)=650.000 土運船1日当り運搬量[N](m3/日)=1,243.000					
往復平均えい航速度[v](km/h)=11.000 土運船(押航)の公称泥艀容量[B](m3)=650.000 往復平均えい航速度[v](km/h)=11.000					

SDH101240 施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
土運船(押航)の公称泥艙容量[B](m3)=650.000					

SDH190040 施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号内訳表

1 回 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
運転費 えい航費(作業船)	1.000	式	205,671	205,671	SDH180210 施工 第0-0004号内訳表
損料	1.000	式	223,220	223,220	TZ308003700 1*223220
		回	428,891	428,891	+00 428891/1
小計	1	回		428,891	
えい航距離(湮) 被えい航船舶の設定 方式の選択	=8.5 =3 =1	えい航距離(湮) グラフ浚渫船(普通地盤用) アンカー式			
グラフ浚渫船(普通地盤用)の規格 引船選定 えい航用引船1の規格	=2 =1 =10	鋼D 5.0m3 標準 鋼D 1200PS型			
引船帰港の有無	=1	無し			
えい航用引船の供用日数[N1](日)=0.500 被えい航船舶等の供用日数[N1](日)=0.500					

運転費
 えい航費(作業船)

07年12月20日適用
 頁0-0019

SDH180210 施 工 内 訳 表

施工 第0-0004号内訳表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
燃料費 えい航費(作業船)	1.000	式	38,921	38,921	SDH180220 施工 第0-0005号内訳表
労務費(えい航用引船) えい航費(作業船)	0.500	日	142,500	71,250	SDH180230 施工 第0-0006号内訳表
労務費(被えい航船舶) えい航費(作業船)	0.500	日	191,000	95,500	SDH180240 施工 第0-0007号内訳表
		式	205,671	205,671	+00 205671/1
小計	1	式		205,671	
えい航距離(湮) 被えい航船舶の設定 方式の選択	=8.5 =3 =1	えい航距離(湮) ｸﾞﾗﾌ 浚渫船(普通地盤用) ｱﾝｶｰ式			
ｸﾞﾗﾌ 浚渫船(普通地盤用)の規格 引船選定 えい航用引船1の規格	=2 =1 =10	鋼D 5.0m3 標準 鋼D 1200PS型			
えい航用引船の運転時間(h) えい航用引船の運転日数(日) 被えい航船舶等の運転日数(日)	=3 =0.4 =0.4	えい航用引船の運転時間(h) えい航用引船の運転日数(日) 被えい航船舶等の運転日数(日)			
えい航用引船の供用日数[N1](日)=0.500 被えい航船舶等の供用日数[N1](日)=0.500 えい航用引船の供用日数[N1](日)=0.500 被えい航船舶等の供用日数[N1](日)=0.500					

燃料費
えい航費(作業船)

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
重油A ローリー	411.000	1	94.7	38,921	TZ304010170
		式	38,921	38,921	+00 38921/1
小計	1	式		38,921	
引船選定 えい航用引船1の規格 えい航用引船の運転時間(h)	=1 =10 =3	標準 鋼D 1200PS型 えい航用引船の運転時間(h)			

労務費(えい航用引船)
えい航費(作業船)

07年12月20日適用

頁0-0021

SDH180230 施 工 内 訳 表

施工 第0-0006号内訳表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
高級船員	3.000	人	37,900	113,700	RR0126
普通船員	1.000	人	28,800	28,800	RR0127
		日	142,500	142,500	+00 142500/1
小計	1	日		142,500	
えい航距離(湮) 引船選定 えい航用引船1の規格	=8.5 =1 =10	えい航距離(湮) 標準 鋼D 1200PS型			

労務費(被えい航船舶)
えい航費(作業船)

07年12月20日適用

頁0-0022

SDH180240 施 工 内 訳 表

施工 第0-0007号内訳表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
船団長	1.000	人	37,900	37,900	RR3004
高級船員	1.000	人	37,900	37,900	RR0126
普通船員	4.000	人	28,800	115,200	RR0127
		日	191,000	191,000	+00 191000/1
小計	1	日		191,000	
えい航距離(湊) 被えい航船舶の設定 方式の選択	=8.5 =3 =1	えい航距離(湊) クレーン 浚渫船(普通地盤用) アンカー式			
クレーン 浚渫船(普通地盤用)の規格	=2	鋼D 5.0m3			

SDH190040 施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号内訳表

1 回 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
運転費 えい航費(作業船)	1.000	式	84,687	84,687	SDH180210 施工 第0-0009号内訳表
損料	1.000	式	196,470	196,470	TZ308003700 1*196470
		回	281,157	281,157	+00 281157/1
小計	1	回		281,157	
えい航距離(湮) 被えい航船舶の設定 土運船(押航)の規格	=8.5 =13 =1	えい航距離(湮) 土運船(押航) 鋼650m3積(開閉式)			
同時えい航隻数(隻) 引船選定 えい航用引船1の規格	=1 =1 =9	同時えい航隻数(隻) 標準 鋼D 1000PS型			
引船帰港の有無	=1	無し			
えい航用引船の供用日数[N1](日)=0.500 被えい航船舶等の供用日数[N1](日)=0.500					

運転費
 えい航費(作業船)

07年12月20日適用

頁0-0024

SDH180210 施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号内訳表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
燃料費 えい航費(作業船)	1.000	式	32,387	32,387	SDH180220 施工 第0-0010号内訳表
労務費(えい航用引船) えい航費(作業船)	0.500	日	104,600	52,300	SDH180230 施工 第0-0011号内訳表
		式	84,687	84,687	+00 84687/1
小計	1	式		84,687	
えい航距離(湮) 被えい航船舶の設定 土運船(押航)の規格	=8.5 =13 =1	えい航距離(湮) 土運船(押航) 鋼650m3積(開閉式)			
同時えい航隻数(隻) 引船選定 えい航用引船1の規格	=1 =1 =9	同時えい航隻数(隻) 標準 鋼D 1000PS型			
えい航用引船の運転時間(h) えい航用引船の運転日数(日) 被えい航船舶等の運転日数(日)	=3 =0.4 =0.4	えい航用引船の運転時間(h) えい航用引船の運転日数(日) 被えい航船舶等の運転日数(日)			
えい航用引船の供用日数[N1](日)=0.500 被えい航船舶等の供用日数[N1](日)=0.500 えい航用引船の供用日数[N1](日)=0.500					

燃料費
えい航費(作業船)

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
重油A ローリー	342.000	1	94.7	32,387	TZ304010170
		式	32,387	32,387	+00 32387/1
小計	1	式		32,387	
引船選定 えい航用引船1の規格 えい航用引船の運転時間(h)	=1 =9 =3	標準 鋼D 1000PS型 えい航用引船の運転時間(h)			

労務費(えい航用引船)
えい航費(作業船)

07年12月20日適用

頁0-0026

SDH180230 施 工 内 訳 表

施工 第0-0011号内訳表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
高級船員	2.000	人	37,900	75,800	RR0126
普通船員	1.000	人	28,800	28,800	RR0127
		日	104,600	104,600	+00 104600/1
小計	1	日		104,600	
えい航距離(湮) 引船選定 えい航用引船1の規格	=8.5 =1 =9	えい航距離(湮) 標準 鋼D 1000PS型			